

# 緑の風 FAX版



NO. 106 2020年6月18日 JR東労組

JR 東労組ホームページ

## 全組合員で議論しよう！ JR東労組 夏季手当交渉 について

JR東労組は、会社回答(2.4ヶ月)に対し、**席上妥結ではなく持ち帰り議論**としました。その理由は、組合が要求した額と根拠から大きくかけ離れているからです。



中央本部は、**その回答を持ち帰り、全地本委員長会議で会社回答をどうするのか議論**をしました。

参加者からは「本部が出した要求根拠はわかりやすい。しかし、会社は私たちの努力に応えていない。」「コロナ禍で命がけの感染リスクの中運行してきた。会社経営陣にそのことは理解されているのか。」「このコロナ禍の状況の中、認められないとはならない。」「組合員から現実の生活費をどう確保するのかという率直な声がある。」等と意見がでました。

**会議の結論としては、社会的使命を果たしてきた現場組合員と家族の苦労と努力を会社は受け止めていない回答であるが、コロナ禍が収束しない中において奮闘している組合員の生活を第一に考えて妥結をする**ということになりました。そして、**悔しさをバネにこの夏季手当の結果について組合員の意見を集約し、第39回大会において夏季手当のたたかいを振り返っていくこととしました。**

全組合員のみなさん！率直な意見を出し合い、共にJR東労組運動を創り上げていきましょう！

**新生JR東労組運動は、職場の組合員の声に基づき、組合員とともにたたかいを創ります！**